

<介護職員初任者研修情報公開>

【研修機関情報】

- ・法人名
株式会社グッドライフケア東京
- ・住所
東京都中央区新川1-23-5 ONE SHINKAWA 3階
- ・代表者
代表取締役 珍田 純子
- ・事業所名称
グッドライフケアアカデミー
- ・住所
東京都中央区新川1-23-5 ONE SHINKAWA 3階
- ・理念
グッドライフケアは、「よいケア」を通じて
従業員の幸福を追求し、お客様の生命と生活を守り社会に貢献します。
- ・学則
グッドライフケアアカデミー 介護職員初任者研修（通信コース） 学則参照

1. 事業所の名称及び所在地

名称：グッドライフケアアカデミー

所在地：東京都中央区新川1-23-5 ONE SHINKAWA 3階

2. 研修事業の名称

グッドライフケアアカデミー 介護職員初任者研修（通信形式）

（開講の目的）

社会福祉士及び介護福祉士法に基づき、介護福祉に関する専門的知識及び技術を修得させ、
地域福祉の担い手として貢献できる人材を養成し、広く地域社会に貢献することを目的とする。

3. 実施過程及び形式

介護職員初任者研修（通信形式）

4. 研修会場

研修は、次の会場で実施する。

株式会社グッドライフケア東京

東京都中央区新川1-23-5 ONE SHINKAWA 3階

5. 研修日程表

別紙「日程表」「通信分日程表」「講義内容・演習実施方法」を参照。

6. 受講定員

各回 10名

7. 講師

専任講師 13名 (看護師2名、介護福祉士11名)

8. 実習施設

実習は、ありません。

9. 研修終了の認定方法

すべての研修を修了し、修了評価の筆記試験に合格した者に修了証明書を交付する。

10. 受講対象者

- ・男女を問わず、心身ともに健全である者。
- ・東京都およびその近郊に在住している者。
- ・高等学校卒業もしくは同等以上の学力があると認められる者。

11. 受講手続き

- (1) 当社指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。
ただし、定員に達した時点で申込み受け付けは終了とする。
- (2) 当社は、書類審査の上、受講者の決定を行い、受講決定通知書を受講者宛に通知する。
- (3) 受講決定通知書を受取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 当社は、受講料等の納入を確認後、教材を郵送する。

12. 受講費用

研修参加費用は次のとおりとする。(金額はすべて税込み)

内訳	金額	研修参加費用合計	納付方法	納付期限
受講費用	38,500円	44,000円	一括納入	受講開始 前日まで
テキスト代	5,500円			

13. 受講料の返還

納入された受講料は原則として返還しない。ただし、受講申込締切日前に受講辞退の申し出があった場合は、当社規定に従い返還することとする。その際の振込手数料は受講予定者負担とする。

辞退を申し出た日	返還額
受講申込締切日まで	受講料の全額
受講申込締切日翌日～開講2日前まで	受講料の半額
開講前日以降	なし

14. 補講について

やむを得ない事情で面接授業の一部を欠席した場合は、補講を受講することにより当該科目を履修したものとみなす。この場合、補講にかかる受講料は徴収しない。

また、補講は原則として当社において実施する予定であるが、やむを得ない場合は他の事業者が実施する研修への参加を補講と認定する場合がある。その場合の受講料は、他の事業者が定める金額によることとする。原則として、補講は「項目」を単位として履修するが、当社で補講を受講する場合は「科目」ごとに履修できるものとする。

補講および、修了試験の期限は、開校日より8か月以内とする。やむを得ない理由があり、書面により当該理由が確認できる場合は1年6か月以内とする。

15. 本人確認について

研修の受講に際して、受講申込受付時又は研修開始日の開講式までに本人確認を行う。本人確認の方法は、以下の公的証明書の提出等により行うものとし、本人確認ができない場合は、受講の拒否または修了の認定を行わないものとする。

- ① 戸籍謄本、戸籍抄本もしくは、住民票の提出
- ② 住民基本台帳カードの提示
- ③ 在留カード等の提示
- ④ 健康保険証の提示
- ⑤ 運転免許証の提示
- ⑥ パスポートの提示
- ⑦ 年金手帳の提示
- ⑧ 国家資格等を有する者については免許証または登録証の提示

また、受講申込書に身分証明書の写しを添付し、受講申込書には受講生本人の顔写真を貼付する。受講生はスクーリング初日に公的な身分証明書（運転免許証等）を持参し、事務職員が確認をする。通学日毎に、受講生は出席簿に押印する。

16. 苦情対応窓口（株式会社グッドライフケア東京および、グッドライフケアアカデミー）

研修に関して次の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情および事故が生じた場合には迅速に対応する。

苦情対応（相談窓口）：03-6222-8563（月～金 9：00～18：00）

17. その他お問合せ先（資料請求含む）

株式会社グッドライフケア東京 人事部

住所：東京都中央区新川1-23-5 ONE SHINKAWA 3階

電話：03-3537-0790

18. 研修施設・設備

東京都中央区新川1-23-5 ONE SHINKAWA 3階

名 称	台 数
① ベッド	3台
② 車いす	3台
③ ポータブルトイレ	3台
④浴槽	1槽

19. 研修スケジュール※区分確認

区分	実施期間	募集定員
第1回	令和6年4月8日～令和6年4月30日	10名
第2回	令和6年6月5日～令和6年6月28日	10名
第3回	令和6年8月5日～令和6年8月29日	10名
第4回	令和6年10月3日～令和6年10月28日	10名
第5回	令和7年2月5日～令和7年2月28日	10名
	合計	50名

科目と項目	研修時間数		
	計	通信 相当分	通学
1 職務の理解（6時間）			
①多様なサービスの理解	1		1
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	5		5
2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）			
① 人権と尊厳を支える介護	6	4	2
② 自立に向けた介護	3	1	2
3 介護の基本（6時間）			
① 介護職の役割、専門職と多職種との連携	2	1	1
② 介護職の職業倫理	1	0	1
③ 介護における安全の確保とリスクマネ	1.5	1	0.5
④ 介護職の安全	1.5	1	0.5
4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携（9時間）			
① 介護保険制度	4	2	2
② 医療との連携とリハビリテーション	2	2	0
③ 障害者総合支援制度	3	3	0
5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）			
① 介護におけるコミュニケーション	4	2	2
② 介護におけるチームのコミュニケーション	2	1	1
6 老化の理解（6時間）			
① 老化に伴うこころとからだの変化と日	3	2	1
② 高齢者の健康	3	1	2
7 認知症の理解（6時間）			
① 認知症を取り巻く状況	1	0	1
② 医学的側面から見た認知症の基礎と	2	1	1
③ 認知症に伴うこころとからだの変化	2	1	1
④ 家族への支援	1	0	1
8 障害の理解（3時間）			
① 障害の基礎的理解	0.5	0.5	0
② 障害の医学的側面、生活障害、心理	2	0.5	1.5
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	0.5	0	0.5
9 こころとからだのしくみと生活支援技術（75時間）			
① 介護に関する基礎的理解	12	3	9
② 自立に向けた介護の展開	51	9	42
③ 生活支援技術演習	12	0	12
10 振り返り（4時間）			
① 振り返り	3	0	3
② 就業への備えと研修修了後における	1	0	1
計	130	94	36
○ 修了評価（1時間）			

	科目・項目	提出期限
第1回	介護における尊厳の保持・自立支援 ・人権と尊厳を支える介護 ・自立に向けた介護	教材配布～1週間以内
第2回	介護の基本 ・介護職の役割、専門職と多職種との連携 ・介護職の職業倫理 ・介護における安全の確保とリスクマネジメント ・介護職の安全	
第3回	介護・福祉サービスの理解と医療の連携 ・介護保険制度 ・医療との連携とリハビリテーション ・障害者総合支援制度およびその他の制度	
第4回	介護におけるコミュニケーション技術 ・介護におけるコミュニケーション ・介護におけるチームのコミュニケーション	教材配布～2週間以内
第5回	・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・高齢者と健康	
第6回	・認知症を取り巻く状況 ・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ・認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ・家族への支援	
第7回	障害の理解 ・障害の基礎的理解 ・障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴 ・家族の心理、かかわり支援の理解	教材配布～3週間以内
第8回 ～ 11回	こころとからだのしくみと生活支援技術 ・介護に関する基礎的理解 ・自立に向けた介護の展開 ・生活支援技術演習	

科 目 (項目・科目番号、科目名)	講師名	専任・ 兼務
9(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 1(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解 9(1) 介護の基本的な考え方 9(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解 9(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	藤崎 芳子	専任
1(1) 多様なサービスの理解 8(2) 障害の医学的側面、生活障害などの基礎知識 8(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	藤崎 芳子	専任
2(1) 人権と尊厳を支える介護 2(2) 自立に向けた介護 9(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 9(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	高木 敏子	専任
3(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携 3(2) 介護職の職業倫理 3(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	高木 敏子	専任
3(4) 介護職の安全 5(1) 介護におけるコミュニケーション 5(2) 介護におけるチームのコミュニケーション 6(1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 9(5) 快適な居住環境整備と介護	神保 洋一	専任
6(2) 高齢者と健康 7(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	濱崎 友子	専任
9(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 9(13) 介護過程の基礎的理解	藤井 陽介	専任
7(1) 認知症を取り巻く状況 7(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 7(4) 家族への支援 9(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	竹下 早紀	専任

4(1)介護保険制度 9(14)総合生活支援技術演習	竹内 博秋	専任
9(11)睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	藤井 陽介	専任
9(4)生活と家事 9(12)死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	藤崎 芳子	専任
10(1)振り返り 10(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修筆記試験	珍田 汐花	専任

<通信学習実施計画書>

1. 添削指導の方法

自宅学習期間の質問方法

添削は、FAXによるものとする。添削については、各項目担当講師にて添削を行う。

F A X番号 03-3537-0791

2. 指導方法

- ①講座開始日に受講生へ使用テキストとレポート課題を配布し、自宅学習を行う。自宅学習の成果を確認するため、レポート課題を提出する。
- ②提出されたレポート課題は、担当講師が採点する。各レポート評価は 70 点以上を合格とする。合格点に達しない場合は、合格に達するまで再提出を求める。
- ③通信による学習で陥りがちな独りよがりや思い込みを防ぎ、不明確な事柄や学習の内容をフォローするために、質問事項はFAX または郵便にて送付してもらい、後日、担当講師より回答を送ることとする。